

# 令和7年度

## 「運営に関する計画」

大阪市立東住吉中学校

令和7年4月

# 大阪立東住吉中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

## 1 学校運営の中期目標

### 現状と課題

- 教育相談やいじめアンケートの実施などを定期的に実施することで、生徒が抱える課題の早期発見につなげることができた。重大ないじめや問題行動については、いつどのような事態が起きるかもしれないという危機感を持つ必要がある。そのような事態を未然に防止するためにも、見守りを続けていくとともに、生徒の自己肯定感・自己有用感の改善に向けた取組を充実させていく。
- 「学級活動等で自分の意見をよく発表する。」、「生徒会活動や専門委員会活動、学級の係活動に積極的に協力している。」という生徒の主体性に関する質問に対しては、昨年度から大きく向上しており、生徒がより主体的に取り組む意識を向上させたい。
- ICT機器の活用を積極的に進め、感染症による出席停止等で教室での授業を受けることのできない生徒を対象に、普通教室の授業の様子をライブ配信することが定着している。教職員・生徒がともに学びを止めないという意識が高まっている。
- 全国学力・学習状況調査や各学年の中学校チャレンジテストの結果においては課題もみられるが、教職員の授業力向上と生徒の理解力向上に向けての取組を継続し、課題解決を図る。
- 教職員の働き方については、個別の事情にも配慮することで負担軽減につながるようにした。年齢や性別、家庭環境に関わらない、働きやすい環境の整備を継続させる。

### 中期目標

#### 【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度末の生徒アンケート調査で、「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を88%以上にする。【令和5年度 91.1% 令和6年度 92.9%】
- 令和7年度末の生徒アンケート調査で、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を90%以上にする。【令和5年度 96.4% 令和6年度 95.6%】
- 令和7年度末の生徒アンケート調査で、「自分には、良いところがありますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を90%以上にする。【令和5年度 80.6% 令和6年度 82.6%】

#### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の全国学力・学習状況調査における平均正答率の対全国比を1.0以上にする。【令和5年度 国語1.00 数学1.10 英語0.99 令和6年度 国語1.00 数学0.95】
- 令和7年度の大阪市英語力調査におけるC E F R A 1 レベル(英検3級)相当以上の英語力を有する中学3年生の割合(4技能)を65%以上にする。【令和5年度 49.1% 令和6年度 59.9%】
- 令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を1.0以上にする。  
【 令和5年度 男子0.99 女子1.00 令和6年度 男子1.03 女子0.98】

#### 【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度末の教職員アンケート調査で、「ICTを活用した教育を推進した」に対して、肯定的に回答する教職員の割合を85%以上にする。【令和5年度 86.8% 令和6年度 92.5%】
- 令和7年度における、「時間外勤務時間が45時間を超える月数0」かつ「1年間の時間外勤務時間が360時間以下」である教職員の割合を50%以上にする。【令和5年度 29.6% 令和6年度 41.3%】
- 令和7年度末の保護者アンケート調査で、「学校は、『開かれた学校』づくりに努めている。」に対して、肯定的に回答する保護者の割合を75%以上にする。【令和5年度 81.6% 令和6年度 84.4%】

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

◎は全市共通目標

### 【安全・安心な教育の推進】

- ◎年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を93%以上にする。【令和6年度 94.3%】
- ◎年度末の校内調査における、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。【令和6年度 8.3%】
- ◎年度末の校内調査における、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。【令和6年度 44.4%】
- 年度末の校内調査における、「自分自身は学校のルールは守れている。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を95%以上にする。【令和6年度 97.2%】
- 年度末の校内調査における、「生徒会活動や専門委員会活動、学級の係活動に積極的に協力している。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を前年度以上にする。【令和6年度 75.2%】
- 年度末の校内調査における、「学級活動等で自分の意見をよく発表する。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を前年度以上にする。【令和6年度 46.6%】
- 年度末の校内調査における、「子どもが悩んだりしているとき、学校は相談できる機会や体制を整えている。」に対して、肯定的に回答する保護者の割合を前年度以上にする。【令和6年度 85.5%】
- 年度末の校内調査における、「イジメや不登校の問題に対して、学校は努力して取り組んでいる。」に対して、肯定的に回答する保護者の割合を前年度以上にする。【令和6年度 87.6%】

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を33%以上にする。  
【令和5年度 32.7% 令和6年度 31.4%】
- ◎中学生チャレンジテストにおける国語の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。【令和6年度 1年生（78期生）1.01 2年生（77期生）1.01】
- ◎中学生チャレンジテストにおける数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。【令和6年度 1年生（78期生）1.01 2年生（77期生）1.08】
- ◎大阪市英語力調査におけるC E F R A 1 レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合(4技能)を60%以上にする。【令和5年度 49.1% 令和6年度 59.9%】
- ◎年度末の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を55%以上にする。【令和6年度 64.9%】
- ・年度末の校内調査における「集中して授業を受けることができる。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を前年度以上にする。【令和6年度 81.2%】
- ・年度末の校内調査における「自分の健康については気をつけている。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を前年度以上にする。【令和6年度 87.8%】
- ・年度末の校内調査における「授業では、教材や教え方が工夫されている。」に対して、肯定的に回答する保護者の割合を前年度以上にする。【令和6年度 80.3%】

### 【学びを支える教育環境の充実】

- ◎授業日において、生徒の8割以上が学習用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。
- ◎年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を85%以上にする。【令和5年度 84.6% 令和6年度 83.3%】
- 年度末の校内調査における「週に1回以上、本や新聞を読む機会がある。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を前年度以上にする。【令和6年度 42.2%】
- 年度末の校内調査における「ICTを活用した教育を推進した」に対して、肯定的に回答する教職員の割合を85%以上にする。【令和5年度 86.8% 令和6年度 92.5%】

### 3 本年度の自己評価結果の総括

# 令和7年度 教育目標

大阪市立東住吉中学校

【校訓】  
**明朗典雅  
自律協同**

【めざす生徒像】

- 自ら学び、自ら判断し、自ら行動する生徒
- 共に助け合い、共に高め合う生徒
- 自らを律し、思いやりの心を持つ生徒

【学校教育目標】

- 個性を伸ばし、創造性を育てる。
- 健全な社会性を育てる。
- 高く、豊かな人間性を育てる。

【重 点 目 標】

- 生徒の自主性・自律性を高めるため、組織的な支援や指導体制を充実する。
- 基礎基本の定着とさらなる学力の向上を図る。
- 体験的な教育活動を通して、豊かな感性と社会性を身につけさせる。
- 校内組織の活性化に努め、小中連携の推進を図る。

【具体的方策】(新型コロナウイルス感染症の現状を踏まえながら取り組む。)

1. 生徒の自主性・自律性を高めるため、組織的な支援や指導体制を充実する。

- ・ 規範意識の高揚に努める。
- ・ 挨拶指導の徹底と自律心の醸成に努める。
- ・ 生徒会活動・委員会活動の一層の活性化を図る。
- ・ 部活動指導を通して、生徒指導の充実を図る。
- ・ 「不登校」・「いじめ」等の生活指導上の諸問題に対する取組の充実を図る。
- ・ 生徒・保護者との繋がりを一層深める。
- ・ 地域・保護者・学校の三者連携を一層深化させる。

2. 基礎基本の定着とさらなる学力の向上を図る。

- ・ 学習指導要領に則り、「知・徳・体」の調和のとれた教育を推進する。
- ・ 授業時数の確保に努める。
- ・ 相互授業参観など研究授業を実施し、授業力の向上を図る。
- ・ 適正な学習評価を図る。
- ・ オンライン授業の実施も含め、ICTを活用した教育を推進する。

『主体的・対話的で深い学び』のできる授業設定 (指導者)

『教科における見方・考え方』を働かせる学習 (生徒)



<生徒の資質・能力の向上>

### 3. 「SDGs」関連づけた教育を推進する

- ・新学習指導要領前文の一節に、「持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる」とある。
- ・このことも受け、「SDGs」関連づけた教育を推進する。具体的には、各教科や総合の時間において取組を進めていく。
- ・とりわけ、私たちがこれまでにも進めてきた、「平和」「人権」「環境」「公正」「協調」などの教育について、具体的な取組を一層推進したい。

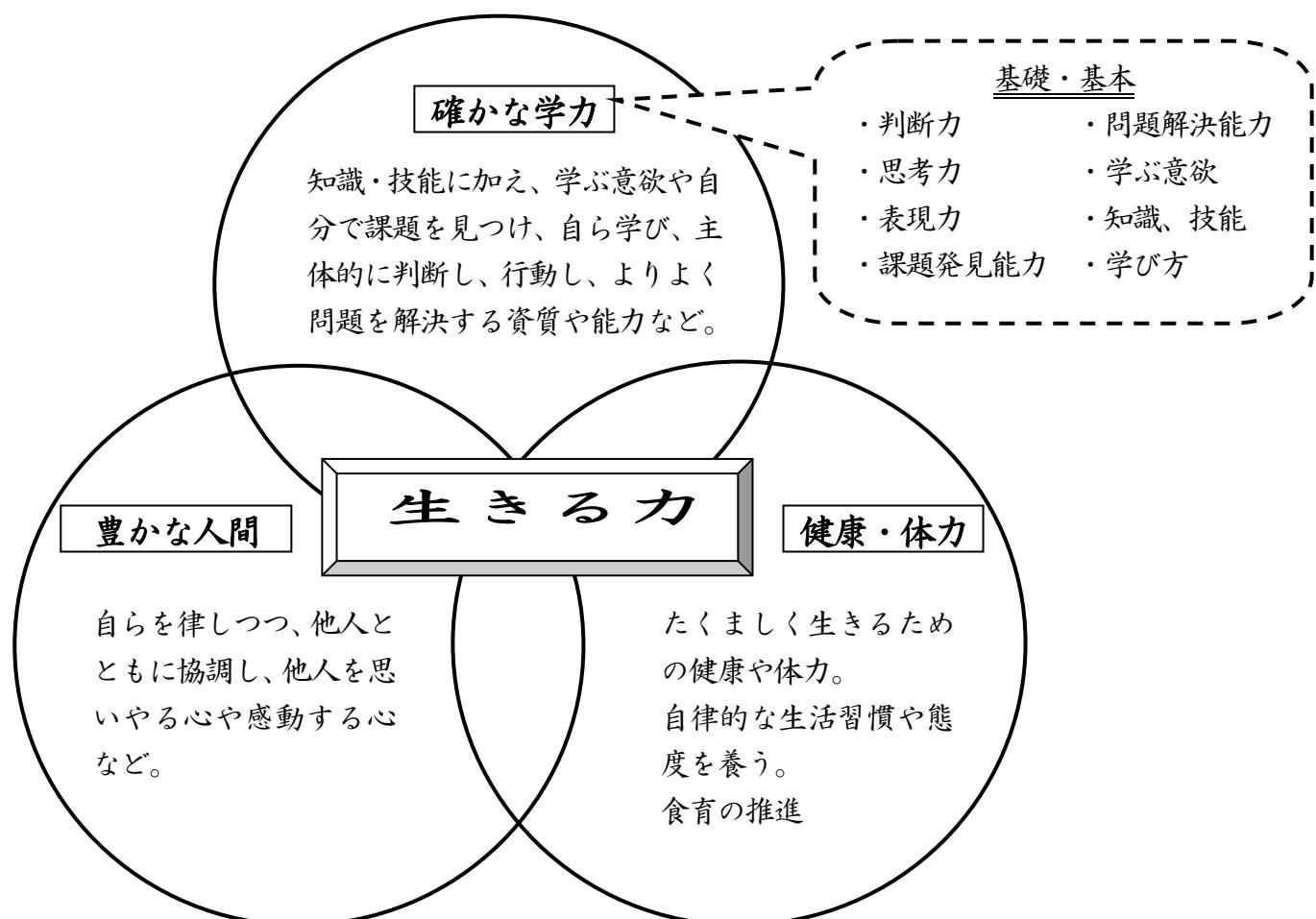
### 4. 体験的な教育活動を通して、豊かな感性と社会性を身につけさせる。

- ・3年間を見通した体験学習を軸に「キャリア教育」をより一層進める。
- ・防災教育を通して、地域貢献の感覚をつけさせる。

### 5. 校内組織の活性化に努め、小中連携の推進を図る。

- ・各組織の成果と課題を全教職員で検証、共有するシステムを確立する。
- ・教育課程・生徒指導・教職員との交流等あらゆる場面で、小中連携を一層深める。
- ・安全・安心できる学校運営に努め、「信頼される学校」をめざす。
- ・学校活性化のための、教職員を対象とした研修システムの構築を図る。

## 【生きる力の育成】



大阪市立東住吉中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいいことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を93%以上にする。【令和6年度 94.3%】</li> <li>・年度末の校内調査における、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。【令和6年度 8.3%】</li> <li>・年度末の校内調査における、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。【令和6年度 44.4.%】</li> <li>・年度末の校内調査における、「自分自身は学校のルールは守れている。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を95%以上にする。【令和6年度 97.2%】</li> <li>・年度末の校内調査における、「生徒会活動や専門委員会活動、学級の係活動に積極的に協力している。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を前年度以上にする。【令和6年度 75.2%】</li> <li>・年度末の校内調査における、「学級活動等で自分の意見をよく発表する。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を前年度以上にする。【令和6年度 46.6%】</li> <li>・年度末の校内調査における、「子どもが悩んだりしているとき、学校は相談できる機会や体制を整えている。」に対して、肯定的に回答する保護者の割合を前年度以上にする。【令和6年度 85.5%】</li> <li>・年度末の校内調査における、「イジメや不登校の問題に対して、学校は努力して取り組んでいる。」に対して、肯定的に回答する保護者の割合を前年度以上にする。【令和6年度 87.6%】</li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】生活指導部長 教育相談週間を設定し、個々の生徒の実態を把握し、早期発見・早期対応に努める。  (いじめへの対応)(不登校への対応)</p>	
<p>指標 年間計画に教育相談週間を設定し、実施していく。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】健康教育部長 「警備及び防災の計画」「安全対策マニュアル」に基づき、区役所・消防署など関係諸機関と連携しながら、地域防災リーダーと共に、避難訓練、防災教育などを実施する。  (防災・減災教育の推進)</p>	
<p>指標 防災教育、避難訓練を実施。学校アンケートの生徒回答の中の「先生は災害が発生したときや非常時にどうしたらいいか教えてくれる」の肯定的回答を90%以上にする。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】道徳教育推進教師 教育活動全体を通じた道徳教育の推進を図り、生徒一人一人の道徳性を高めるとともに自尊感情の醸成に努める。(道徳教育の推進)</p>	
<p>指標 生徒アンケートによる「人の生き方や豊かな心の在り方について考える機会がある」の項目で、肯定的回答を60%以上にする。</p>	

<p><b>取組内容④【基本的な方向2 豊かな心の育成】3学年主任</b></p> <p>将来の望ましい自己実現に向け、自主性、協調性、自立・自律心を育み、豊富な知識と知恵を習得させるために、教科学習、総合的な学習、日常の学校生活などのあらゆる機会に「すべてキャリア教育につながる」という理念を常に持って取り組む。(キャリア教育の充実)</p>	
<p><b>指標</b> タブレットを活用した調べ学習・体験型の学習を実施する。</p> <p>1年「職業調べ学習及び発表」、2年「職業講話・高校体験学習・高校調べ学習及び発表」、 3年 将来の自分像を視野に入れた進路選択になるよう取り組む。</p>	
<p><b>取組内容⑤【基本的な方向2 豊かな心の育成】生徒会担当</b></p> <p>生徒会活動・委員会活動・係活動の中で生徒自ら主体的に活動していく機会を増やしていく。 (キャリア教育の充実)</p>	
<p><b>指標</b> 生徒アンケートの「学校行事に積極的に参加していますか」という質問に肯定的な回答をする生徒の割合を85%以上にする。</p>	
<p><b>取組内容⑥【基本的な方向2 豊かな心の育成】人権教育主担</b></p> <p>お互いの立場や人権を尊重し、豊かな人間関係を築くための取り組みをおこなう。 (人権を尊重する教育の推進)</p>	
<p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育の集中実践を推進する。</li> <li>・日常生活の中で人権感覚を養う取り組みを進める。</li> <li>・さまざまな文化に親しみ、違いを認め合いながら生活できる取り組みを進める。</li> <li>・個別的な人権課題に対する取り組みを推進する。</li> </ul>	
<p><b>取組内容⑦【基本的な方向2 豊かな心の育成】人権教育主担</b></p> <p>個々の違いを認め合い、互いに尊重し合う仲間づくりをおこなう。(人権を尊重する教育の推進)</p>	
<p><b>指標</b> 生徒アンケートの「友達を大切にしている」「相談できる友達がいる」という質問に肯定的な回答をする生徒の割合を80%以上にする。</p>	
<p><b>取組内容⑧【基本的な方向2 豊かな心の育成】特別支援教育コーディネーター</b></p> <p>校内の特別支援教育の充実と推進、継続性を持った支援体制を確立する。(インクルーシブ教育の推進)</p>	
<p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の障がいや特性に応じた柔軟な学習支援を行う。また、外部機関と連携した支援体制も実施し、先を見据えた支援ができるようにする。</li> <li>・個別の教育支援計画と個別の指導計画を作成し、その計画に基づいた効果のある支援を行う。さらに年3回以上見直しする機会を設け、教職員に提示する。</li> </ul>	
<p><b>取組内容⑨【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】教頭</b></p> <p>生徒一人一人に寄り添った不登校要因への対応を行うとともに、不登校児童生徒の学習機会の確保に向けた取組を行う。(いじめへの対応)(不登校への対応)</p>	
<p><b>指標</b> 不登校生徒の学力保障対策として、ボランティアの協力のもとに、学校内適応指導教室を設置・運用する。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>今後の改善点</p>	

# 大阪市立東住吉中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を33%以上にする。 【令和5年度 32.7% 令和6年度 31.4%】</li> <li>中学生チャレンジテストにおける国語の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。</li> <li>中学生チャレンジテストにおける数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。</li> <li>大阪市英語力調査におけるC E F R A 1 レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合(4技能)を60%以上にする。【令和5年度 49.1% 令和6年度 59.9%】</li> <li>年度末の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を55%以上にする。【令和6年度 64.9%】</li> <li>年度末の校内調査における「集中して授業を受けることができる。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を前年度以上にする。【令和6年度 81.2%】</li> <li>年度末の校内調査における「自分の健康については気をつけている。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を前年度以上にする。【令和6年度 87.8%】</li> <li>年度末の校内調査における「授業では、教材や教え方が工夫されている。」に対して、肯定的に回答する保護者の割合を前年度以上にする。【令和6年度 80.3%】</li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①-1 【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】国語科主任 「書く力」「読む力」をのばすため、語彙力の向上を目指す。（教科一国語）</p>	
<p>指標 教科書採用の文章にとらわれず、様々な文章に出会う機会をつくる学期毎に1度以上作る。</p>	
<p>取組内容①-2 【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】社会科主任 自作のプリント教材を用い、学習内容の定着をはかる。（教科一社会）</p>	
<p>指標 ノートや課題の提出率を90%以上にする。</p>	
<p>取組内容①-3 【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】数学科主任 基礎・基本の定着に努めるとともに、発展的な内容の定着にも努める。（教科一数学）</p>	
<p>指標 課題プリント、小テスト、朝学習、学力補充等を課題に応じて実施する。</p>	
<p>取組内容①-4 【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】理科主任 自主教材を活用して、生徒の理解を深める。（教科一理科）</p>	
<p>指標 きめ細かなノート点検を実施する。</p>	

<p><b>取組内容①-5【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】音楽科主任</b>  <b>楽曲演奏を通して、基礎・基本の理解の向上に努める。（教科一音楽）</b></p>	
<p><b>指標 演奏上で指示を出し、達成度・達成感の向上をはかる。</b></p>	
<p><b>取組内容①-6【施策5 子ども一人一人の状況に応じた学力向上への取組】美術科主任</b>  <b>美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく造形的なよさや美しさなどを基に意図に応じた工夫をして表現活動や鑑賞活動の学習活動に取り組ませる。（教科一美術）</b></p>	
<p><b>指標 個別指導で技能向上や構想のアドバイスを行う。</b></p>	
<p><b>取組内容①-7【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】保健体育科主任</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種目の運動特性を理解して、自身に合った方法で運動に取り組む姿を育てる。</li> <li>・十分な運動従事時間を確保して、基礎運動能力の向上に努める。</li> <li>・保健分野において健康や生命の尊さを学ばせる。（教科一保健体育）</li> </ul> </p>	
<p><b>指標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実技の教科書や映像資料を使うなど、きめ細かな指導を行う。</li> <li>・実技の授業では、準備運動に加えてランニング、補強運動を行うとともに、種目に応じたトレーニングを行う。</li> <li>・保健分野ではAEDや人体模型などの教材を利用して、体験型の指導を行う。</li> </ul> </p>	
<p><b>取組内容①-8【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】技術家庭科主任</b>  <b>問題解決的な学習の流れと実践的・体験的な学習や実習を通して、生活の自立に必要な知識・技能の習得と理解の向上に努める。（教科一技術・家庭科）</b></p>	
<p><b>指標 細やかな自己評価を実施し、学習の到達度の把握や作品の完成度をはかる。</b></p>	
<p><b>取組内容①-9【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】英語科主任</b>  <b>「聞く」・「話す」・「読む」・「書く」の活動をバランスよく身につけさせる。（教科一英語）</b></p>	
<p><b>指標 上記の4技能を評価する機会を多く取り入れる。</b></p>	
<p><b>取組内容①-10【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】教頭</b>  <b>生徒委員会活動とも連携し、学校図書館の開館や環境整備を推進する。書籍や新聞を読む習慣を身に着けさせることにより、子どもの学力向上に結び付ける。（言語活動・理数教育の充実）</b></p>	
<p><b>指標 アンケート調査で、「週に一回以上、本や新聞を読む機会はありますか」という設問に肯定的な回答（そう思う、どちらかといえばそう思う）の割合を40%以上にする。</b></p>	
<p><b>取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】教務主任</b>  <b>観察・実験方法や指導法についての研修会をおこない指導力の向上に努める。</b>  <span style="float: right;">(言語活動・理数教育の充実)</span></p>	
<p><b>指標 アンケート調査で、「実験・観察等の授業に興味を持って参加できる」という設問に肯定的な回答（そう思う、どちらかといえばそう思う）の割合を80%以上にする。</b></p>	
<p><b>取組内容③【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】情報教育委員長</b>  <b>各教科の特性を活かしながらICT教材の活用に努める。また、国語科・数学科・英語科では、習熟度別少人数授業に取り組む。</b>  <span style="float: right;">(「主体的・対話的で深い学び」の推進（各学校の実態に応じた個別支援の充実）)</span></p>	
<p><b>指標 授業後のアンケートの結果で、「学習は分かる」「授業は楽しい」の設問に対して肯定的な回答（そう思う、どちらかといえばそう思う）の割合を70%以上にする。</b></p>	
<p><b>取組内容④【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】教務主任</b>  <b>個に応じた指導の充実のための教材開発、データの活用を図り、実践研究に努める。</b></p>	

<p>(「主体的・対話的で深い学び」の推進（各学校の実態に応じた個別支援の充実）)</p>	
<p><b>指標</b> 年度末の生徒アンケート「先生は教え方をいろいろ工夫していますか」で肯定的回答 80% を目指す。</p>	
<p><b>取組内容⑤【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】英語科主任</b> 中学校までの9年間の一貫したカリキュラムのもとで、ICT教材、読み物教材、C-NETとのTT等を通して、4技能をバランスよく身につくよう取り組む。  <b>指標</b> G T E Cで市平均以上をめざす。</p>	
<p><b>取組内容⑥【基本的な方向5 健やかな体の育成】保健体育科主任</b> 主体的、対話的で協同的な学びの機会を設けて運動に親しむ態度を育成する。また、運動やスポーツにかかわる機会を増やし、体力向上・運動能力向上に努める。  <b>指標</b> 全国体力・運動能力、運動習慣調査で、体力合計点と1週間の総運動時間について2年間の経年変化で市平均以上をめざす。</p>	
<p><b>取組内容⑦【基本的な方向5 健やかな体の育成】健康教育部長</b> 「食に関する指導の全体計画・年間指導計画」をもとに、食育の実践・推進に努める。  <b>指標</b> 「食育通信」の発刊を年間指導計画に基づいて行う。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
今後の改善点	

大阪市立東住吉中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業日において、生徒の8割以上が学習用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。</li> <li>年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を85%以上にする。 【令和4年度 64.4% 令和5年度 84.6% 令和6年度 83.3%】</li> <li>年度末の校内調査における「週に1回以上、本や新聞を読む機会がある。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を前年度以上にする。【令和6年度 42.2%】</li> <li>年度末の校内調査における「ICTを活用した教育を推進した」に対して、肯定的に回答する教職員の割合を85%以上にする。【令和4年度 89.2% 令和5年度 86.8% 令和6年度 92.5%】</li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】</p> <p>情報教育委員長</p> <p>ICTを活用した学習の機会を増やし、各学年とも調べ学習や体験学習について論理的にまとめて発表できるよう言語力や論理的思考能力を育成し、将来の進路選択・決定する際の基盤を築く。 (ICTを活用した教育の推進)</p>	
<p>指標 生徒アンケートで、「授業で自分の考えをまとめたり、発表したりすることがよくある」の肯定的な回答を、50%以上をめざす。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】教頭</p> <p>生徒の心の状態や日々の状況を可視化し、いじめ・不登校などの未然防止・早期発見・迅速な対応を行う。(ICTを活用した教育の推進)</p>	
<p>指標 学習者用端末を活用した「スクールライフノート」による「心の天気」「アンケート機能」「相談申告機能」の利用を推進する。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】教頭</p> <p>勤務に関して、教職員の健康障害の防止および感染症拡大を予防する観点から、労働安全衛生管理を充実させる。(働き方改革の推進)</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>代休の取得を推進し、勤務時間の割振りの変更やテレワーク制度等の活用により、必要な配慮を行う。</li> <li>始業式・終業式の弾力的な運用を行う。</li> <li>長期休業中の学校閉庁日行事予定を工夫・調整することで設定する。</li> </ul>	
<p>取組内容④【基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】教頭</p> <p>「元気アップ地域本部事業」や地域更生保護女性会と連携し、学校・家庭・地域の連携を強化していく。(地域学校協働活動の推進)</p>	
<p>指標 学校ボランティアの参加人数と実施回数・参加生徒数を前年度以上にする。</p>	

取組内容⑤【基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】教頭

保護者や校区小学校、地域諸団体への情報発信を推進するとともに連携を深め、学校と地域との協働体制を構築し、課題解決につながるようにする。 (教育コミュニティづくりの推進)

指標 保護者アンケートで、「学校は、『開かれた学校』づくりに努めている。」の割合を70%以上にする。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

今後の改善点